

文学館だより



令和 8 年 4 月 1 日
若山牧水記念文学館
TEL 0982 - 68 - 9511
文 貴 日 高 第 120 号

顕彰会、文学館ともに新体制にて始動

年度が改まり、日向若山牧水顕彰会、若山牧水記念文学館ともに新体制にてスタートを切りました。牧水生誕 140 年記念事業を終えた那須文美会長（会長歴 9 年、通算 14 年）退任をはじめとする理事の交代、更にこれまで 3 人体制だった文学館運営が 4 人体制となり、事務局が増員となりました。これまで同様、どうぞ温かいご支援をよろしくお願いいたします。詳細につきましては若山牧水ホームページや会報みなかみ特集号等でご報告いたします。今暫くお待ちください。

顕彰会新三役 会 長 黒木孝利（事務局長兼務）
副会長 橋口 寛 寺原政志

事務局新職員 事 務 水野亜紀

はじめまして。水野亜紀です。
若山牧水の歌に触れる中で、言葉の持つ静かな力や余韻の深さに魅力を感じています。
来館される皆さまにとって、穏やかで心に残る時間となるよう、努めてまいります。
どうぞよろしくお願いいたします。

牧水の里に牧水歌碑2基建立



山陰神社歌碑



笠瀬会長宅

牧水の里、日向市東郷町に朗報です。東郷町に牧水歌碑が 2 基建立され、3 月 15 日に除幕式が執り行われました。

令和 5 年、東郷町山陰（やまげ）小野田地区の有志により「山陰神社の歴史をつなぐ有志の会」（笠瀬幹夫会長）が結成され、歌碑建立に向けて準備が進められてきました。

1 基は山陰神社（東郷町山陰丙）境内に建立され、
うぶすなのわが氏神よとこしへに村のしづめとおはすこの神 牧水
もう 1 基は、笠瀬会長宅に建立されました。

歯を痛み泣けば背負ひてわが母は峡の小川に魚を釣りにき 牧水 旅人書

牧水が詠んだ歌で近隣の歌碑に刻まれていない歌、神社やふるさとを詠んだ歌の中から 6 首を選び、会員の選によって山陰神社歌碑の歌は選ばれました。文学館の行き帰りにどうぞお立ち寄りください。

講座生募集!! 『伊藤一彦短歌実作講座』

今年度も「伊藤一彦短歌実作講座」を開講します。20 年目を迎えます。伊藤先生のもとと一緒に短歌を学びたい方、お待ちしております。

開催日程、会場	①令和 8 年 6 月 17 日（水） 13:30～16:20 日向市中央公民館 ②令和 8 年 8 月 19 日（水） 13:30～15:30 日向市中央公民館 ③令和 8 年 11 月 18 日（水） 14:30～16:30 日向第一ホテル
内 容	○開催予定日の 2 週間前までに作品短歌を 1 首、若山牧水記念文学館まで提出していただきます。 ○6 月 17 日の 1 回目は、伊藤先生の講話があります。講座生以外の方も受講できます。講話終了後に実作講座を開催します。 ○受講料は 1 回につき 500 円です。
参加対象	宮崎県内にお住まいの方
定 員	40 名程度 ※先着順とさせていただきます。

詳細は若山牧水ホームページをご覧ください。 <https://www.bokusui.jp>
申込締切 令和 8 年 5 月 20 日（水）



講座生募集!! 『短歌実作基礎講座』 集まれ! 短歌初心者たち

「短歌を詠んでみたいけれど、伊藤一彦短歌実作講座はレベルが高すぎる。」という声から、昨年発足した初級者コースです。短歌に触れることから始めていきます。サーフィン、日向坂もいいけど、若山牧水が生まれた「短歌のまち日向」を一緒に盛り上げていきませんか。
集まれ! 短歌初心者たち

- 1 **ねらい** みそひともじ
(1) 5・7・5・7・7の三十一文字のリズムを知り、短歌に触れる機会をもつ。
(2) 短歌実作および鑑賞を通して、短歌の基礎を学ぶ。
(3) 歌人若山牧水が東郷町坪谷に生まれたことを知り、「短歌のまち日向」づくりを盛り上げる。
(4) 宮崎日日新聞「宮日文芸短歌部門」等への投稿気運を高める。
- 2 **主催**
日向若山牧水顕彰会
- 3 **アドバイザー**
日高尚子氏 日向市在住 「心の花」所属
鈴木睦代氏(補佐) 日向市在住
- 4 **開催日程、会場、その他(予定)**

①	令和8年 7月 7日(火)	13:30 ~ 16:00	日向市中央公民館
②	令和8年 8月 18日(火)	13:30 ~ 16:00	若山牧水記念文学館
③	令和8年 11月 10日(火)	13:30 ~ 16:00	若山牧水記念文学館
④	令和9年 1月 12日(火)	13:30 ~ 16:00	日向市中央公民館
⑤	令和9年 2月 9日(火)	10:00 ~ 12:00	日向第一ホテル

 - 原則として、開催予定日2週間前までに短歌を1首提出するが、この限りではない。
 - 当日は、自作短歌を発表し鑑賞し合う。
 - アドバイザーから短歌に関する基礎知識を学ぶ。
 - 受講料は1回につき500円とする。(欠席の場合も徴収させていただきます。)
 - できれば年間を通して受講できる方を希望するが、この限りではない。

詳細は若山牧水ホームページをご覧ください <https://www.bokusui.jp>
申込締切 令和8年5月31日(日)



申し込みはこちらまで

- 「伊藤一彦短歌実作講座」(中級者、上級者コース)
 - 「短歌実作基礎講座」(初級者コース)
- 電話 0982-68-9511
ファクス 0982-68-9512
メール bokusui5akugare@gmail.com



牧水先生の一首

折に触れて出会う一首を紹介しています

瀬の渦にひとつ棲むなり鮎の魚ふたつはすまざるひとつ瀬に

せのうずに ひとつすむなり あゆのうお ふたつはすまざる そのひとつせに

昭和2年詠。「鮎つりの思ひ出」の詞書のあと25首編まれており、最終歌集『黒松』に収められている。

上(かみ)つ瀬と下(しも)つ瀬に居りてをりをりに呼び交しつ父と釣りにき
おもほへば父も鮎をばよく釣りきわれも釣りにきその下(しも)つ瀬に
釣り得たる鮎とりがし笑ふ時し父がわらひは瀬に響きにき

以前にも掲載したが、第27回若山牧水賞受賞歌人奥田亡羊氏が「この歌を何度も繰り返し読んでみると涙が出てくるんです。いい歌というのはそういうものなのかなというふうに思います。」とこの歌を挙げている。

牧水母校 坪谷小学校 ありがとう

3月31日をもって、日向市立坪谷小学校は閉校しました。ポスト文集(短歌集)、おすず(作文集)他の資料を公開し、坪小149年の歴史を文学館が大切に引き継いでいきます。準備にお時間をいただきます。今暫くお待ちください。

